

福島第一原発汚染水問題を踏まえた地層処分の問題点 Problems of geological disposal based on the contaminated water issues at Fukushima Daiichi NPS

*柴崎 直明¹

*Naoaki Shibasaki¹

1. 福島大学

1. Fukushima University

深刻な原子力事故から8年が経過した福島第一原発では、汚染水問題がまだ解決していない。多くの汚染水対策が実施されてきたが、地下水バイパスや凍土壁の効果は予想されたものよりも限定的であった。これは、原発敷地の複雑な地質や水文地質に対する調査や理解が不足していたためである。この経験をもとに、発表者は2017年7月に経済産業省が公表した高レベル放射性廃棄物の地層処分のために科学的特性マップを検討した。このマップには、地下水や水文地質学に関する詳細な情報は示されていない。発表者は、水文地質学および地下水流動系の観点から、地層処分における重要な問題点を指摘する。

キーワード：福島第一原発、汚染水問題、地下水、地層処分、科学的特性マップ

Keywords: Fukushima Daiichi NPS, contaminated water issues, groundwater, geological disposal,
Nationwide Map of Scientific Features for Geological Disposal